

令和4年(2022年)10月 花き部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2022年10月 数 量	2022年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価	
1	キク	愛知県・長崎県が主要産地です。数量は前年並みで推移しました。平均単価は高く推移しました。	747,399	78	102%	114%	
2	バラ	群馬県・岡山県が主要産地です。作柄が良く、数量は増加しました。平均単価についても高く推移しました。	127,854	91	129%	111%	
3	切花	カーネーション	コロンビアからの輸入物が主要産地です。輸入物の入荷減少により、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	299,195	59	77%	126%
4		かすみ草	熊本県、福島県が主要産地です。暑さの影響で生育が遅れ、数量はかなり減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	26,330	165	72%	160%
5							
6		カニ葉サボテン	埼玉県・愛知県が主要産地です。数量はかなり減少し、平均単価についても安く推移しました。	135	317	76%	84%
7	鉢物						
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上